

Point

2021/03/01 No. 21
JR東労組青年部
(東日本旅客鉄道労働組合青年部)
発行責任者 武田 太希

21春闘 6,000円の要求根拠

JR東労組本部は、2月9日第47回定期中央委員会を開催し、21春闘の方針を決定しました。21春闘スローガンである【厳しい春闘情勢下においても「雇用確保」「定昇確保（昇給係数4）」「ベア要求」を堂々と掲げ、グループ会社で働く仲間と共にたたかおう！】の下、本部討議資料を活用して議論を積み重ねてきました。今回は6,000円の要求根拠について深めていきます。

要求根拠
21春闘ではJR総連春闘として「ベア一律6,000円（定期昇給を含まない）」の賃金引き上げを要求します。JR総連平均基準内賃金が297,998円です。連合方針である2%程度の要求方針に則り6,000円となります。



日本の賃上げ事情について
全法人の年間経常利益が28兆円だった1998年度に比べ2018年度には84兆円、更に非正規労働者も1997年の1,150万人から2019年度では2,169万人にまで増えました。しかし1998年から約20年、私たちにはほとんど利益が還元されず、冷え切った厳しい状況が続き、賃金が下がったゆえに消費も増加せず、日本経済が伸び悩んでいます。このような中で労働組合の集まりである「連合」は、それぞれの産業における最大限の底上げに取り組んでいます。



本部青年部ではこの間、賃金学習会を3回開催し、社会情勢や要求根拠を議論してきました。

JR東労組は要求を掲げ、バス関東本部・バス東北本部・JR東日本ステーションサービスなど、多くのグループ会社で働く組合員の生活維持・向上のためにたたかい抜いていきます。

**社友会では賃金引き上げ交渉することは出来ません！
組織強化・拡大を実現して21春闘を勝利しよう！**

